

1-1 建物概要			1-2 外観
建物名称	(仮称)広島市中区舟入本町計画	階数	地上15F
建設地	広島県広島市中区舟入本町14番2	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	224 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年3月 予定	評価の実施日	2016年6月1日
敷地面積	947 m ²	作成者	(有)Jib建築設計工舎 多森治義
建築面積	477 m ²	確認日	2016年6月1日
延床面積	5,166 m ²	確認者	(有)Jib建築設計工舎 多森治義



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE =1.7 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★	標準計算 30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質 Q1 室内環境 Q1のスコア= 4.0	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.3	Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア= 3.1
LR 環境負荷低減性 LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.9	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.3	LR3 敷地外環境 LR3のスコア=3.1

3 広島市の重点項目		
重点項目の総平均スコア= 3.4		
「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア= 3.9	スコア= 2.1	スコア= 3.2
設計の計画に特段に配慮した事項 住戸開口部に複層ガラスを採用。/ 住宅性能評価「5-1断熱等性能等級」等級4 / LED等の高効率機器の採用。/ / 節水タイプ水栓の採用。リサイクル材の使用。躯体と仕上材が容易に分別可能。/ 可能な限りCO ₂ の排出を削減。	設計の計画に特段に配慮した事項 / 駐車、駐輪スペースの確保。	設計の計画に特段に配慮した事項 外壁に磁器質タイルを使用。 住宅性能評価劣化対策等級3を確保。/

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される